

意見募集結果公表資料(個別案件用)

案 件 名	亀岡市博物館整備基本計画(案)	公 表 日	令和7年3月31日
<p>上記案件について、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。 お寄せいただいたご意見及びこれに対する亀岡市の考え方を以下のとおり公表いたします。</p>			
意見募集期間	令和7年2月14日～令和7年3月11日	意 見 数	26件
意 見 の 要 旨		亀 岡 市 の 考 え 方	
1	<p>1-2 博物館の理念 コンセプトを表に出す(コンセプトの明確化)</p> <p>自分たちは「何者」であるか？ この言葉は、私が京都の修学旅行の誘致活動のため、訪問先のとある学校の先生から聞かされた言葉です。 なぜ、生徒を修学旅行の行き先に京都を選んだ理由に、 以下の様なことを述べられました。 「生徒たちが海外にホームステイした際、生徒たち自身が考え、日本の食べ物やアニメ・漫画、そしてゲームなど身近な文化をホームステイ先の同じ世代の学生たちに対して紹介したそうです。 ところが、そのホームステイ先の学生たちは、 「あなた達の伝えてもらった日本文化はわかりました。では、あなた達は何者なのですか？どの様なルーツを経て、現在のあなた達がいるのですか？」 という質問を受けたそうです。 「日本の生徒たちは、誰一人その問いに対して答えられなかったのです。」 「ホームステイ先の学生達は、明確に自分たちルーツやアイデンティティを学んでいて、明確に他者に伝えることができる。だから、うちの生徒たちは大きなカルチャーショックを受けたのです。」 と先生は述べられました。 先生は続けてこう述べられました。 「だから、生徒たちには日本文化が発祥した、あるいは洗練された文化や歴史が京都にあると思うので、少しでも触れてもらいたい、体験してもらいたいという理由から、修学旅行は京都にしたいのです。」</p> <p>この言葉を聞いて、では、現在の亀岡市の小中高の子供達が、同じ質問したらどうなのか？ と思いました。</p> <p>なので、新たな文化資料館こと、「亀岡市博物館整備基本計画」には、そのコンセプトを明確していく必要があると思います。</p> <p>「自分たちは何者で、自分たちが住まう町はどんな町なのか？」 そのコンセプトが明確にならないと、ただの「博物館」という価値観で見られてしまいます。</p> <p>地元の人が 「自分たちは何者で、何のために、何を目指し、どこへ向かうのか」 その趣旨に沿って訪れる場所であり、また、地方の方も。あそこへ行けば、亀岡市のことが全てわかるという場所であってほしいです。</p>	<p>ご指摘のとおり、亀岡市の子どもたちが自らの生まれたまちに誇りを持てるよう、博物館の理念を「亀岡の歴史・文化・芸術等を語る「たからもの」を、市民とともに守り・育み、未来へ伝える」と定めています。子どもたちが、ふるさと亀岡のことを認識・理解できるような展示等を今後検討してまいります。</p>	

2	<p>第1章 計画の背景 1-3博物館の方針 (2)の「市民の学習と交流のハブとなる博物館」に「子ども達の歴史や文化体験の」を加えてはどうか</p>	<p>子ども達の学習活動も含めて、「市民の学習と交流」とお示しているところですので、現行の文言と致します。</p>
3	<p>第1章 計画の背景 1-4施設のターゲット C 児童・生徒 「総合学習等」の前に「社会科・」を追加してはどうか</p>	<p>当該部分では、総合学習を中心に、幅広い授業での導入を企図しておりますので、現行の文言と致します。</p>
4	<p>1-3 博物館の方針 2番目に「市民のつながりを育む」が掲げられていることは大変に良いことと思います。 しかし「E 来訪者」では「交流人口、移住者の増加を目的として・・・」と記載されるのみで、一般市民の来訪方針については、児童・生徒を除いて特段の記述がありません。 「5-6 教育普及活動」は3つの方針が羅列されているだけで、何をしようとする「方針」が伝えわってきません。 理念では、「地域文化を育む生涯学習を実践し、市民の地域への誇りと愛着にを高める場所として」と明記されています。 この理念を実践するためには、市内各所から気軽に博物館に足を運べる環境づくりが欠かせません。市民からの多額の公費を投じる公共施設ですので、マイカーを前提とする来館方針であってはなりません。平日に気軽に来館できる高齢者や未来を担う中高校生が安全に来館できる公共交通を充実させる方針を、「5-6教育普及活動」など関連個所にぜひとも明記してください。 建設予定地から離れて暮らす市民がおいてきぼりにならないよう、来館者を増やす方針を積極的に明記していただくようお願いいたします。</p>	<p>博物館整備の際には、ご指摘のとおり、公共交通の充実についても併せて検討する必要があると考えています。 この点については、隣接するガレリアかめおかとの連携のしくみ等と合わせて、今後関係各所と検討を進めてまいります。</p>
5	<p>1-4 施設のターゲット C 児童・生徒 ・歴史を学び始める小学生と中学生をターゲット／・学校教育での利用／・当施設のメインターゲットの一つ／・総合的な学習の時間などで訪れる</p> <p>①学校教育の中に文化資料館を位置付けにくく利用しづらい まずは根本的に来場者数増の取り組みが必要ではないでしょうか。小学校と文化資料館は同じ教育委員会の組織同士ですが、つながりが希薄と感じます。故に児童生徒を連れて行きづらいです。 具体的に文化資料館に取り組んでいただきたいのは、文化資料館の資料や展示を活用した社会科でのカリキュラム開発です。総合的な学習の時間ではありません。総合は学校によって取り組むことが異なり、郷土の調査で且つ必要としないと文化資料館に足を運ぶことをしません。一方、社会科はどの学校でも必ず学習を行う教科です。もっと踏み込めば小学校3、4年生が主に使う「わたしたちの街亀岡(わた亀)」の中に、文化資料館を活用した学習を入れることです。昔の暮らしの道具がおそらく収蔵物としてもあるかと思しますので、もっと重点的に、学校現場にアピールしてください。 また、亀岡市内に勤める教員のどれだけが文化資料館を訪れたことがあるのでしょうか。授業に使ってもらおうと思うならば、少なくとも亀岡に勤める教員くらいは、いつでも無料で見れるくらいの仕組みが欲しいです。そしてその気軽さが、授業での利活用につながるのではないかと思います。</p>	<p>新博物館においても、ターゲットのうち小中学生に重点を置いており、学校教育現場へのアプローチが必要と考えております。具体的な進め方については、今後検討してまいります。</p>

2 全体計画

亀岡市博物館整備基本計画を拝見させて頂き、少し興味を惹かれたので思いを少しだけ書かせて頂きます。取るに足らない内容とは思いますが、少しでもおくみとりいただければ幸いです。

亀岡の歴史・文化・芸術を主骨に「たからもの」として素案がまとめられているものと承知いたします。亀岡市は約7割が山林であり田園も広がる緑豊かな土地でもあります。湯の花温泉や近傍にはるり溪自然公園や保津峡といった名勝も点在しております。また亀岡市には菅原道真に所縁を持つ桜石が知られております。個人的にはこれらの自然や地質にかかわる所も「たからもの」に加えて欲しいと思っています。しかし、これらの自然や地質に関わる展示を充実させるためには多くの標本を必要とし、保存、維持、管理の面でも困難があるとは思いますが。そこで博物館のテーマに沿わせると云う視点で次のような事を思い浮かべました。

例えば、昆虫で考えてみますと、亀岡では、クワガタの事をゲンジと呼びます。聞き知るところによるとこれは源氏に由来するものと謂われております。清和源氏、多田源氏のあの源氏です。幼い頃にはよく「ゲンジ取り」に行った思い出が良く残っています。

このゲンジですが種類を示す呼称が面白く、地区によって違いがあるかも知れませんが、チョロケン、マンジユクイ、カジワラ、ハコイ、リクなどの名前が見られます。

チョロケンは見た目を示し、ちよろけ(ちよろちよろと愛嬌よく動きまわる事から)から来ているようで、最も普通に見られる種類です。

マンジユクイとは、元は狂言の演目であり、後に演劇が何かで、両親に大層可愛がられ大切に育てられた、少女がある時、両親からおとうさんと、おかあさんのどちらが好き、と尋ねられ少女は困り、手に持っていた饅頭を二つに割り、両親に向かい右と左のお饅頭どちらが好きと尋ね返しました。両親は娘の意図を察し、一層の愛情をもって少女に情を注いだという話があります。

これが一時期流行ったようで、まんじゅくい人形という土人形が売られていたようです。この人形にクワガタのメスの雰囲気似ている事からクワガタのメスをマンジユクイというようになったようです。この名前は比較的新しいと思われれます。

カジワラは、源頼朝の重臣、梶原景時が起源と思われる、赤い縫い糸の鎧を身に着け、最後は伐倒を狙う敵方、御家人一統に詰められ京へ向かい、駿河で討たれました(梶原景時の変)。この話から、山中に潜む景時を連想し赤く特徴的顎を持ち武者を連想させるノコギリクワガタをカジワラと呼ぶようになったと思われれます。カジワラとハコイは頭にアクセントがあり古くからある呼び名であると思います。ミヤマクワガタやノコギリクワガタは、山林に多く、恐らく昔は、これらが主に多く生息していたのだと思います。ハコイは恐らく「箱負い」から来ていると思います。

亀岡は、源氏との由縁が深く、源平合戦で景時父子と対立した源義経の謂れがある義経の腰掛岩あり、源頼政の首が眠る頼政塚もあります。

クワガタも近年の乱開発などの影響で減りつつあります。自然科学的な視点で考えてみても歴史や郷土とのつながりが垣間見られるような大切なものがあ

展示における具体的な内容については、ご指摘の点もふまえながら、今後「基本設計」等において検討してまいります。

	<p>るように思えます。これらの話は、根拠もなく半信半疑な内容ですが、亀岡のクワガタを見ながらそんな思いを馳せてみるのも面白いかも知れません。</p> <p>昆虫は繁殖範囲が狭く数百メートルの範囲で変化するものがあります。オオセンチコガネなどは、地域ごとに赤、黄色、緑、青など玉虫の色に似た多彩な色の変化を見せます。雑草も同じように見えてよくよく見ると少し違う場合があります。亀岡の虫、雑草は亀岡にしかないのかもしれないかもしれません。</p> <p>桜石にも歴史にちなむ物語があります。</p> <p>平安の世、昌泰の頃右大臣道真公の近臣に稗田野郷鹿谷が郷里の高田若狭之介正期という忠義者があった。公が時の左大臣藤原時平の讒言により筑紫大宰府にさせられ給う時に正期は公より多年御寵愛の櫻樹を形見に賜った。正期之を郷里に移植したが、その年に見事に咲いた櫻が翌年の弥生には葉ばかりで花を付けない。不思議に思った正期は君主の身に何か変わった事でもと、遥々大宰府に伺候したが道真は無事であった。</p> <p>公はいたくその忠節を感じられて天拝山の土で自像を作り再び彼に与えられた。若狭之介は郷里に帰り近くの独鈷拋山(とこなげやま)の禁に祠を建てて此れを祀った。それより三百年の歳月が流れ建久二年、積善寺中興の無極上人は屢夢枕に菅神の現れ給うにより感得する事あつて祠を積善寺境内に迎え移した。</p> <p>そして、「奇なるかな櫻樹の精霊樹下に形を顕す。之全く神意に縁り樹は枯れ朽つるが故、岩中に花の紋を残し給うなり」と書かれています。 (桜天満宮縁起書)</p>	
7	<p>2 全体計画 人を呼ぶ仕掛けも必要かと思えます。 【本能寺の変研究所(仮)】の設立を提案します。</p> <p>「本能寺の変」は、日本人なら誰も知っている歴史的な事件です。その本能寺の変の出陣地である亀岡市として、学者や有識者、タレント、YouTuberなどの人たちの賛同を集めて、どの研究機関に負けない亀岡市独自の研究機関を併用してはいかががでしょうか？ 年一回、例えば光秀まつりの前後の日、そのようなシンポジウムをしたりするのはどうでしょうか？</p> <p>そうすることで、本能寺の変といえば「亀岡」というイメージを全国に知らしめることができ、とても重要なことでないかと思えます。</p>	<p>研究に関しては、「5 活動計画」の「5-4 調査・研究活動」において示していますとおり、最新の学術成果をふまえた調査・研究を進めてまいります。</p>
8	<p>2-1 (3)調査・研究の項目 その対象として、亀岡が生んだ偉人、石田梅岩(思想家)、円山応挙(画家)、中川小十郎(起業家、教育家)、並河成資(農業研究者)、出口王仁三郎(芸術家)を対象にして平等に扱って欲しい。</p>	<p>調査・研究における具体的な内容については、ご指摘の点もふまえながら、今後「基本設計」等について協議する折に、検討してまいります。</p>
9	<p>2-3 収蔵について 千歳の一宮について／カフェの運営が民間について 収蔵は一宮の今にも壊れそうな元校舎に収蔵と言うよりは別のところに移動し本来の教育の施設に戻して頂きたい。子供園や保育園に。</p>	<p>2-3で示しましたとおり、文化財件数は増加が見込まれるため、新しい博物館の収蔵庫に加え、既存の収蔵庫も活用しながら文化財の保存・活用を進めてまいります。 ご理解いただけますようよろしくお願いいたします。</p>

10	<p>3-3 立地環境と施設の想定規模 この度の基本計画案について、以下の点が気になりましたので意見を提出いたします。</p> <p>① 現在の文化資料館跡地の活用について 計画案には、現在の文化資料館が閉館になった後、跡地をどのように活用されるのかが記載されていません。例えば、収蔵庫としての活用の可能性は検討されていないのでしょうか。閉館後の跡地に関しても、具体的な施策があるなら、示していただきたいです。</p>	<p>「亀岡市博物館整備基本計画」案では、博物館整備後の文化資料館の利用については記載できておりませんが、収蔵庫としての活用の可能性や跡地の活用について、今後検討してまいります。</p>
11	<p>② 新資料館の候補地変更の理由について 令和5年度の「亀岡市新資料館(仮称)整備基本構想」では、旧上下水道部庁舎(北古世町)が候補地とされていましたが、今回の基本計画ではギャラリーかめおかの隣接地に変更されています。その変更理由について記載がないため、検討過程を知りたいです。なぜ変更されたのか、経緯を明記していただけると、市民からの理解を得られやすいと思います。</p>	<p>候補地については、亀岡市博物館整備検討委員会の中で、近年の博物館は、展示だけでなく、市民が集うことのできるフォーラム(広場)としての機能が求められており、その点でギャラリーかめおか周辺地に整備した方が相乗効果も見込まれ、旧上下水道部庁舎跡地よりも効果的であるのご意見をいただき、変更した次第です。詳細については、亀岡市博物館整備検討委員会の議事録要旨をご参照いただきますようお願いいたします。</p>
12	<p>③ 既存施設の今後の活用について 亀岡市文化資料館が、旧上下水道部庁舎のように、現在に至るまで何にも活用・再開発されずに放置されるのではないかと心配しています。上記の施設が有効的に活用されることは、近隣住民にとっても意義のあるものになると思います。具体的な活用計画についても、ぜひ検討していただきたいです。</p> <p>亀岡市民の1人として、今後の亀岡市の文化行政には大いに期待しています。今後の計画策定において、これらの点をご考慮いただけますと幸いです。</p>	<p>「亀岡市博物館整備基本計画」案では、博物館整備後の文化資料館の利用については記載できておりませんが、有効な活用方法について、近隣住民にとっても意義のあるものとなるよう今後検討してまいります。</p>

13	<p>3 施設計画／3-3 立地環境と施設の想定規模 (1)建設予定地／(2)敷地概要／(3)想定規模 建設予定地は、令和6年3月策定の「基本構想」では、旧亀岡市上下水道部庁舎の跡地が、面積、交通利便性、防災対策等の観点から望ましいとされ、市民からのパブリックコメントにも、そのように説明がされていた。</p> <p>今回、「基本構想」を踏まえて「基本計画案」として意見照会がされているが、ここでは建設予定の立地変更の説明が見当たらず、変更の趣旨が不明である。特に、施設の延べ床面積が「基本構想」では数値をもって図示されていたが、「基本計画案」では数値が縮小の上、図示されておらず、計画概要が不明である。</p> <p>また、「基本構想」から「基本計画」に”ステップ・アップ”された経緯の説明も「これまでの経緯」で触れられていない。以上、感想的意見とします。</p>	<p>候補地については、亀岡市博物館整備検討委員会の中で、近年の博物館は、展示だけでなく、市民が集うことのできるフォーラム(広場)としての機能が求められており、その点でギャラリーかめおか周辺地に整備した方が相乗効果も見込まれ、旧上下水道部庁舎跡地よりも効果的であるとのこと意見をいただき、変更した次第です。また施設規模は、建設費や運営費等を検討する中で、本市として適正な規模を示した次第です。</p> <p>詳細については、亀岡市博物館整備検討委員会の議事録要旨をご参照いただきますようお願いいたします。</p>
14	<p>3 施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カフェは、ゆっくり憩えるカフェとして紅茶や清涼飲料水のドリンクバーとしてしてほしい。またサラダバーなど軽食も食べられるようにしてほしい。また安くするため、また地域の発展のため、そのサラダはギャラリーで売っているものを利用するなど、安く、新鮮なものを食べられるようにしてほしい。 ●博物館に関係する本をおいた図書館を設置してほしい。座ってゆっくり読めるようにしてほしい。広いカフェにしてとそれとセットでもよいと思う。よくある鳥屋カフェみたいなイメージ ●人を集める目玉となるようなカフェ(ドリンクバー+地元野菜のサラダバーなど)を作らないと博物館だけでは人が集まらないと思います。カフェは博物館の入場料を払わずに入れるようにお願いします。 	<p>ご指摘のように、カフェ等を設置して、博物館目的ではない方にも気軽に寄っていただけるような施設にしたいと考えています。</p> <p>カフェの企画・内容については、いただいたご意見も参考にしながら、今後詳細を検討してまいります。</p>
15	<p>3 建設予定地 ギャラリーの芝生広場に建設されるとニュースで見ましたが、こちらの資料にはそこまで細かい記載がなく予定地が分かりにくいです。</p> <p>子どもの遊ぶ芝生広場を潰しての建設には絶対反対です。</p> <p>博物館なんて市民が利用するタイミングはほぼありませんし、今までとおりの運営でいいと思います。</p> <p>子どもファーストなら遊び場を奪わないでください。博物館に回す予算があるなら子育て家庭に給付金でも出してください。</p> <p>どうしても新たに建設したいのなら、せめて芝生広場を潰さないように新たな場所を探してください。</p>	<p>基本計画では「ギャラリーかめおかに隣接する場所」と示していますが、芝生広場を潰すかどうかは決まっていません。</p> <p>万が一芝生広場の場所に整備するとなった場合でも、近隣に子どもたちのための施設は整備したいと考えています。</p>

16	<p>3-4 諸室の構成案／展示室</p> <p>(1)・「触れることができる展示室(コーナー)をぜひ。(「亀岡市の歴史・文化を伝える展示室」の中で考えられないか)重さや質感など触って初めて分かることは多く、視覚障害のあるなしに拘らず、新たな学びがあると思われる。</p> <p>・映像室(コーナー)を設け、字幕付きの映像をみられるようにする(できれば、手話対応のできるスタッフも欲しい)。</p> <p>これらは、「基本計画」のp4「F ダイバーシティ&インクルージョン」でも求められている対応でもあり、ハンドフリーにも即応したものである。これからの新しい博物館に必要なものであり、一つの特色にもなると思われる。</p> <p>(2)亀岡の「たからもの」として、円山応挙・石田梅岩・中川小十郎などが例として挙げられているが、日本古代史の上田正昭氏についてもぜひお願いしたいと思います(展示室(コーナー)、関連資料の収集と展示等ご検討を)。</p> <p>展示構成の「A基本展示」には、郷土亀岡を築いてこられた郷土亀岡の偉人達を紹介・顕彰する展示にしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明智光秀(戦国武将) ・石田梅岩(心学) ・出口王仁三郎(思想家・芸術家) ・中川小十郎(教育者・実業家) ・並河成資(農業技師) ・上田正明(国学者・文学博士)等々 	<p>展示における具体的な内容については、ご指摘の点もふまえながら、今後「基本設計」等において検討してまいります。</p>
17	<p>4 展示の方針</p> <p>展示構成は、基本(歴史・文化)、円山応挙、企画の3つから計画されているようですが、ここから受ける印象としては、円山応挙がメインの博物館(=美術館)ではないのかという点です。確かに応挙は美術史に存する偉大な画家ではありますが、一般市民の目線からは、やや地味なコンテンツではないでしょうか。「博物館」と称するからには、もう少しインパクトがあり、多くの市民、訪問者に、感動や誇りをもたらすものであってほしいと思います。例えば、亀岡祭の山鉾実物大展示、亀山城天守の形状再現(建築)、太古の亀岡盆地(湖)の再現ジオラマなど。それだけで展示室を占拠するくらいのビッグなコンテンツがあれば、話題性も大きいかと考えます。</p> <p>あとは、建設予定地が、亀岡駅周辺ではない点も気になると思います。</p>	<p>展示における具体的な内容については、ご指摘の点もふまえながら、今後「基本設計」等において検討してまいります。</p>

18	<p>4 展示計画</p> <p>せっかくの新設ですので、もう少し大胆新しい試みも入れて貰えれば幸いです。スマートにアレンジはされていますが、基本的には現在の文化資料館のリニューアルに感じますので、予算の許す範囲でチャレンジして下さい。</p> <p>全国の多くの資料館・博物館を廻った経験からすると、直感的な展示を持っている町の博物館に惹かれます。それは一言で言うと「観光者目線」「子ども目線」に配慮している内容です。訪れる観光客の思い出に残ったり、子ども達が多数訪れたりしている博物館は魅力的です。</p> <p>上手く表現できないので近くの具体例を挙げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南丹市文化博物館：前方後円墳の模型、参勤交代の模型人形(列) ・近つ飛鳥博物館：天皇陵の模型 ・今城塚古代歴史館：多数の埴輪 ・狭山池博物館：地層の模型※子ども参加のスタンプラリー(常置) <p>こうしたビジュアルな展示は、見学のハードルを下げてくださいし、親も子どもを誘って気軽に行ける場所になります。</p> <p>学術的な内容が前面に出すぎると、専門家や一部のコアな歴史ファン向けだけの建物になってしまいます。</p> <p>美濃加茂ミュージアムに訪れた時、驚いたのは子ども達がたくさん来ていたことです。特に、動物に関わる展示には群がっていました(ちなみに博物館になるので、歴史だけでなく自然に関わる学芸員も採用されるのでしょうか?)。</p> <p>また学校が社会見学で利用しやすいように、子どもの集合場所やリュックを置く棚が設置されていて、「子どもファースト」が感じられ素敵な印象が残りました。観光者向けのグッズや子ども向けの資料も多数販売されていて、配慮の行き届いた立派な博物館で感心しました。</p> <p>ぜひ亀山城や車塚の模型、明智光秀公の騎馬像など、誰もが訪れたいくなる仕掛けとして、エントランスに設置をお願いします。カフェが計画に入っているので、多分その様なコンセプトも検討されていることと予想し、ミュージアムショップも併せ大変期待しています。</p>	<p>ご指摘のように、子どもを含めた多くの方に気軽に寄っていただけるような施設にしたいと考えています。</p> <p>エントランス等の企画・内容については、いただいたご意見も参考にしながら、今後詳細を検討してまいります。</p>
19	<p>4 明智光秀の資料や展示の充実</p> <p>一般観光客は、亀岡の博物館に何を求めてくるでしょうか？大河ドラマの影響もあるので明智光秀のことを知れるかなと思いつつ訪問する一般客も少なくないでしょう。少なくとも数年前の私はそうでしたので、文化資料館にご相談させていただきました。が、光秀に関する資料がほとんどなくガッカリしました。</p> <p>先日訪れた際は、ちょっとした展示があったので、わかりやすく進化したなと感じましたが、入館料300円の対価として得られるものとしては少なすぎます。充実した光秀の展示を常設で。光秀公を亀岡の「たからもの」とするならば、これくらいは欲しいです。</p> <p>6年生で歴史学習が始まります。光秀のことが知れるとなると、活用したいと思います。物理的に展示を作りづらいということでしたら、光秀の遺構をめぐるフィールドワークでも構いません。そのような教科書と関連した学習ができる場であって欲しいです。古墳も多い亀岡なので、使えるかもしれませんね。</p>	<p>明智光秀や古墳など、展示における具体的な内容についても、ご指摘の点もふまえながら、今後「基本設計」等において検討してまいります。</p>

20	<p>5 活動計画 5-7市民共創活動 「ボランティアガイドの会(仮称)を組織し」の部分 「ボランティアガイドの会(仮称)を組織したり、市民ガイドの会と連携したりして」に変更してはどうか</p>	<p>市民ガイドの会様との連携を含め、「ボランティアガイドの会(仮称)」をあり方については今後検討してまいりますので、当該部分については現行の文言と致します。</p>
21	<p>5-1活動の基本的な考え方 7つの活動全般について、建物(ハードウェア)が完成し博物館が開館されるまででも、順次活動していけるものがあるのではないかと思います。例えば、現文化資料館を新博物館試行館と見立てて、それを活かして先行実施や試行実施など順次活動していけることもあるのではないのでしょうか。 このように順次活動もしていくということも、ここ基本的な考え方のところに明記しておいた方が良いでしょう。</p>	<p>当該計画は新博物館整備後の活動や体制についてお示しするものですので、現状の活動に係る記述は考えておりませんが、ご指摘のとおり、資料の収集や教育普及など、現在の文化資料館にも取り入れることのできるものは取り入れていきたいと考えます。</p>
22	<p>5-2. 資料の収集活動 亀岡祭で使用されなくなった懸装品 亀岡祭での懸想品は山鉾行事で現在も使用しておりますが、その保存に関しては例えば翁山鉾の場合は見送り幕を昨年修復したばかりですが、それを含め住民センター2階で丸めて保存することは長い年月の中で生地・刺繍ともに適さないとのことで修復をした業者からは「広げて寝かせておくことが保存の為には大切である」とアドバイスを受けています。ところがやはり空調的な設備もないのが住民センターですのでこのようなデリケートな懸想品関係については使わなくなったものに限定するのではなく、山鉾行事の際には利用しそれ以外の期間は博物館にて保管頂きたいと考えます。なお、懸想品は閉館時以外は吊るし掛け頂いて展示品として一般公開頂ければよろしいかと考えます。この件については翁山鉾保存会の会長に一度ご相談頂ければ幸いです。</p>	<p>展示における具体的な内容については、ご指摘の点もふまえながら、今後「基本設計」等において検討してまいります。</p>
23	<p>6 管理運営計画 亀岡駅に文化資料館PRポスターや看板を。また、道案内の看板を道中に設置。 亀岡駅からさほど遠くないのにもかかわらず、心理的距離が遠い施設の印象があります。先日訪れて感じたことが、亀岡駅からの案内看板が一切無いことです。これは訪れるハードルが高い上、「文化資料館」という言葉を目にする機会が少なく、存在を忘れられているのではと感じました。</p>	<p>広報・PRについても、ご指摘のとおりより積極的に取り組む必要があると考えています。広報の具体的な方法等については、今後検討してまいります。</p>
24	<p>6 管理運営計画 カフェの運営は単純に民間ではなく障害のある人などの雇用の経験や機会を得られるような場であるような運営が良いのではと思いました。 円山応挙など地域の偉人が取り上げられてとても良いことだと思いました。</p>	<p>カフェの運営については、ご指摘の点もふまえ、今後検討してまいります。</p>
25	<p>6-3 運営組織のイメージ図 左側[直営組織]の下側に繋がっている[市民団体]は、範囲が曖昧である。 凡例で[市民団体]と定義しているのに、同じ用語では、重複記述で意味がなく、かつ範囲が曖昧である。2章や5章で記載されている“支援団体”とかの意味合いでしょうか。凡例とは違う曖昧にならない記述にすべき。</p>	<p>ご指摘をふまえ、p21のイメージ図内の「市民団体」を「友の会」に修正します。</p>

26	<p>6 管理運営計画</p> <p>下記の点で具体性に欠けると考えます。</p> <p>◎博物館業務の最も重要なポイントである学芸員の質と量を具体的にどのように確保するのか。人員的には現状の3倍以上は必要と考えます。</p> <p>◎博物館協議会の評価の内容が懸念されます。金銭的利益を評価基準に含めないことを切望します。博物館は営利団体ではありません。</p> <p>◎市民団体との良い連携を維持継続することが博物館が市民から支持を得られるポイントと考えます。市民団体の文化的活動を積極的に支援する旨を明記すべきと考えます。</p>	<p>◎博物館学芸員の人数等の詳細については、今後も引き続き検討してまいります。</p> <p>◎協議会のあり方についても今後協議を重ねてまいります。主には運営方針や展示内容等について評価いただきたく考えています。</p> <p>◎ご指摘のとおり、市民や市民団体との連携については積極的に進めていきたいと考えています。</p>
----	--	---